

大阪の銀行を巡り大阪の歴史文化を探る

柳原 信雄

【目的】

明治時代に設立された大阪の銀行は、当時の大阪で活動していた多くの実業家が関わっており、又銀行が設立された場所も、船場地区の商業中心地が多く、ゆかりの地を巡ることによって、銀行跡地界隈の名所旧跡の再確認、銀行の変遷状況、関わった人物など、大阪における銀行歴史の新たな発見をすることが目的である。

銀行跡地は昔も今も交通至便な場所に位置しており、銀行を巡る散策コースを作成し大阪観光に役立てたい。

【内容】

- ① 大阪発祥の嘗ての都市銀行、住友銀行（現三井住友）、大和銀行（現りそな）、三和銀行（現三菱東京UFJ）の銀行跡地を巡り、銀行歴史の変遷、跡地の現状を調査、併せて跡地に関連する事柄についても調査を実施した。
- ② 名前の消えた大阪の主な銀行のその後（後継銀行 跡地）を調査。
- ③ 朝のテレビ連続ドラマのモデル広岡浅子が関わった加島銀行について調査。
- ④ 銀行に関わった人物（住友吉左衛門、野村徳七、岡橋治助）について調査。

【結果】

（提案）

- ① 大阪企業家ミュージアム前に広岡浅子をイメージした彫刻を設置する。（制作は流政之氏に依頼）広岡浅子の人気効果もあり、大阪観光誘致への貢献が期待できる。加えてミュージアムの来館者増加にもつながる。

[流政之氏は世界的な彫刻家であり、大同生命設立功労者 中川小十郎の子息]

- ② 銀行跡地の公開空地表示板を有効活用する。（銀行の歴史を説明した写真付パネルを、表示板の横に設置）現状は銀行跡地の大半が、跡地についての説明がなく、パネルを設置することによって、大阪の歴史文化への関心が高まる。
- ③ 銀行巡りの散策マップの作成

名前の消えた銀行跡地、界隈の名所旧跡も入った散策マップを作成する。

今後は消え去った大阪発祥銀行の遺構調査を中心に、研究を続けていきたい。

（参考文献など）

住友銀行史 三和銀行史 大和銀行史 協和銀行史 富士銀行史 大同生命社史
銀行変遷データベース サンワのあゆみ 銭高組社史 第一勧業銀行史
大阪経済人と文化（宮本又次）北浜五丁目十三番地まで（小西隆夫）
大阪春秋（28号 36号 71号 133号 141号 150号）中央区史跡文化事典

銀行名の変遷

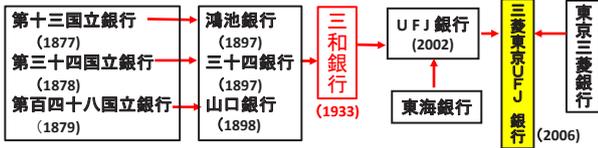
住友銀行 江戸時代からの銅精錬業 住友家がルーツ



大和銀行 野村徳七(二代目)が証券業で財を成し設立



三和銀行 (鴻池家) (岡橋治助他) (山口家)がルーツ



住友銅吹所跡(中央区島之内)

1636年(寛永13年)鰻谷に銅吹所設置
その後本店と居宅を
浪路町から移転
1875年(明治8年)本店を富島に移転
翌年銅吹所廃止



幕府は銅取引管理の為銅座を設ける



住友銀行の源流 富島町で並合業開始(西区川口)

1875年(明治8年) 富島店を住友本店とし
富島渡の付近で並合業を開始
1895年(明治28年) 住友銀行を個人創業
本店を中之島におく(倉庫業を兼営)
1899年(明治32年) 倉庫部門を分離
1901年(明治34年) 本店を今橋四丁目に移転
1908年(明治41年) 本店を北浜五丁目に移転

住友倉庫設立
その後川口倉庫竣工
1929年(昭和4年)



- ① 富島渡
- ② 住友富島本店
- ③ 川口運上所跡
- ④ 住友川口倉庫

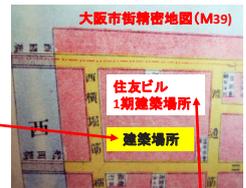


住友銀行本店(中央区北浜)

旧住友(仮)本店建物
住友銀行史写真より



仮本店に付
木造で建築



1908年(明治41年)仮の本店として建築
1927年(昭和2年)関西大学本館として寄贈
(建物を移築) その後取り壊されるが
その建物をモチーフとした以文館が建築
されている



住友本店

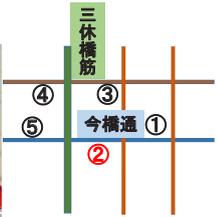
竣工 1期 1926年(大正15年)
2期 1930年(昭和5年)
設計 住友工作部 施工 大林組



鴻池銀行本店跡地(中央区今橋)



竣工 1924年(大正13年)
設計 長野宇平治
施工 大林組
竹中工務店
三和銀行史写真より



- ① 鴻池本宅跡
(大阪美術倶楽部)
- ② 鴻池銀行跡地
(現銀行関連会社ビル)
- ③ 北浜銀行跡地
(トレードピアビル)
- ④ 適塾跡
- ⑤ 愛珠幼稚園
(銅座跡)

鴻池新田会所内に銀行出張所設置



冠木門に掛けられていた看板



1896年(明治29年)
第十三国立銀行 詰所設置
1897年(明治30年)
鴻池銀行出張所設置
1923年(大正12年)
鴻池新田駅前に移転
支店に昇格



三十四銀行本店跡地(中央区高麗橋)

御堂筋 ⑥
今橋
高麗橋
伏見町 ③

①三十四銀行本店跡地
淀屋橋センタービル
②第一銀行大阪支店跡地
③百三銀行本店跡地
④三和銀行本店跡地
⑤大阪貯蓄銀行本店跡地
⑥懐徳堂跡

竣工1904年(明治37年)
設計 片岡安
サンワのあゆみ写真より

第一銀行大阪支店 ②

正面の柱がみずほ銀行南船場支店前に残されている

建築学会写真より

山口銀行本店跡地(中央区瓦町)

1923年(大正12年)竣工
設計 片岡安
施工 竹中工務店
三和銀行100周年
アルバム写真より

旧山口銀行本店

三和銀行本店跡地(中央区伏見町)

現在建替工事中
2017年(平成29年)
完成予定

当地は大阪商工会議所跡地(サンワのあゆみより)

現三菱東京UFJ銀行瓦町支店

初代金頭五代友厚

旧三和本店跡地 新ビル施工業者の一社銭高組

株式会社三菱東京UFJ銀行大阪ビル建替工事
大林・銭高・大末共同企業体

銭高組の社章と社名は野村胡堂が銭形平次創作のヒントとしたもの

御堂筋 ②
伏見町 ①
道修町
平野町
淡路町 ⑤

①旧三和本店
大阪商工会議所跡
②銭高組分室
旧小西平兵衛邸
③大阪ガスビル
④御霊神社
⑤謎の鳥居
(境内地が売却され鳥居だけが残った)

伏見町の銭高組分室(旧小西平兵衛邸) ②

小西平兵衛寄進鳥居 ⑤

大和銀行の源流 野村両替店

1878年(明治11年) 初代野村徳七が農人橋詰町9に住宅兼店舗を構える 同年長男信之助が誕生
1904年(明治37年) 信之助が家業を實質継承、証券業で財をなす

1906年(明治39年) 本町二丁目に店舗新築移転
1907年(明治40年) 信之助家督相続(二代目野村徳七)

1912年(明治45年) 備後町二丁目に店舗新築移転(後年の野村ビルディング建築場所)

東横堀川 ③
松屋町筋 ①
本町通
中央大通 ④⑤

①大阪商工会議所
②本町橋
③大阪企業家ミュージアム
④農人橋
⑤野村両替店

農人橋 ④

大和銀行本店(中央区備後町)

竣工 1924年(大正13年)
設計 片岡建築事務所(安井 武雄)
施工 竹中工務店
野村徳七の意思により7階を有恒倶楽部(現大阪市立大学 有恒会)に会館として提供していた

竣工 1924年(大正13年)
設計 片岡建築事務所(安井 武雄)
施工 竹中工務店
野村徳七の意思により7階を有恒倶楽部(現大阪市立大学 有恒会)に会館として提供していた

現 りそな銀行本店 ③

堺筋 ①
瓦町
備後町 ②
安土町 ④

①山口銀行本店跡地(三菱東京UFJ瓦町支店)
②白木屋跡地(野村第2ビル)
③大和銀行本店跡地(りそな銀行本店)
④野村証券本社跡地(野村不動産ビル)

旧本店の柱

大同生命の源流 加島銀行(西区江戸堀)広岡浅子が参画

1888年(明治21年) 鴻池と並ぶ豪商加島屋(広岡家)が加島銀行を設立
初代頭取 広岡久右衛門正秋(NHK朝ドラ広岡浅子の義弟)
1902年(明治35年) 大同生命設立(朝日生命 護国生命 北海生命 合併)
初代社長 広岡久右衛門正秋
1925年(大正14年) 大同生命ビル竣工
1929年(昭和4年) 加島銀行を 鴻池銀行 山口銀行 野村銀行に分割譲渡

1925年(大正14年)竣工
設計 ヴォーリス 建築事務所
施工 竹中工務店
サンワのあゆみ写真より

旧大同生命ビル

大同生命 名前の由来(小異を捨てて大同につく)
命名者 中川小十郎
加島銀行理事(後の立命館大学創立者)

子息 流政之(世界的彫刻家)
作品 あほんだら獅子
千里中央公園 大和銀行が寄贈

広岡浅子の娘婿 広岡憲三の妹 一柳満喜子の夫

鞠公園 永代浜跡碑(西区鞠本町)



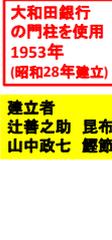
大和田銀行
1892年(明治25年) 福井敦賀の実業家 **大和田荘七**が設立(本店は敦賀)
1896年(明治29年) 大阪鞠に支店開設(西区鞠南通三丁目)
1945年(昭和20年) 三和銀行が吸収合併
俳優の大和田伸也
大和田獏は荘七の子孫

大和田銀行の門柱を使用
1953年(昭和28年建立)

建立者
辻善之助 昆布間屋
山中政七 經節間屋



大和田銀行の門柱を使用
1953年(昭和28年建立)



建立者
辻善之助 昆布間屋
山中政七 經節間屋



大和田銀行の門柱を使用
1953年(昭和28年建立)



建立者
辻善之助 昆布間屋
山中政七 經節間屋



建立者
辻善之助 昆布間屋
山中政七 經節間屋

住友吉左衛門友純と天王寺



住友吉左衛門友純
1865(元治元年)~1926(大正15年)
住友銀行史写真より

公卿 徳大寺公純の第6子
実兄は西園寺公望
1892年(明治25年) 住友家の養嗣子となる
1893年(明治26年) 15代住友吉左衛門襲名
1915年(大正4年) 茶臼山本邸を新築
1921年(大正10年) 池上大阪市長に茶臼山本邸敷地寄付を申出(美術館建築を条件)



友純が寄付した慶沢園

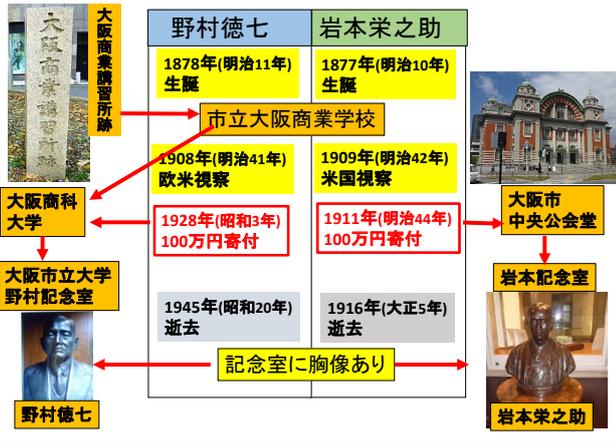


大阪市立美術館



友純が堀越神社に寄進

野村徳七(野村銀行創業者)と岩本栄之助



野村徳七 1878年(明治11年) 生誕
1908年(明治41年) 欧米視察
1928年(昭和3年) 100万円寄付
1945年(昭和20年) 逝去

岩本栄之助 1877年(明治10年) 生誕
1909年(明治42年) 米国視察
1911年(明治44年) 100万円寄付
1916年(大正5年) 逝去

市立大阪商業学校
大阪市中央公会堂
岩本記念室
野村記念室

大阪商業講習所跡
大阪商科大学
大阪市立大学野村記念室
野村徳七

大阪中央公会堂
岩本記念室
岩本栄之助

記念室に胸像あり

三十四銀行創業者の一人岡橋治助



岡橋治助
1826年(文政8年)~1913年(大正2年)
サンワのあゆみ写真より

明治富豪評
近代デジタルライブラリー(国立国会図書館)より

岡橋治助必ず赤切符を買う
↓
鉄道客車に乗る際必ず三等車に乗る
一等車 白切符
二等車 青切符
三等車 赤切符

木綿業者 奈良県出身
三十四銀行初代頭取
天満紡績 日本綿花 他
30余の企業に関与

岡橋治助は富豪であったが、稀に見る儉約家であった
儉約の逸話は数多い

消え去った大阪の主な銀行(明治時代設立)

銀行名	関与人物	設立年	消滅年(和暦)	後継銀行	現存銀行
第百三十国立銀行	松本重太郎	1878年 明治11年	大正12年 救済合併	保善銀行(安田)	みずほ
第三十二国立銀行(浪速銀行)	平瀬亀之助(平瀬露香)	1878年 明治11年	大正9年合併	十五銀行 その後 帝国銀行	三井住友
第四十二国立銀行	田中市兵衛	1878年 明治11年	明治34年 解散	—	—
第五十一国立銀行	寺田甚与茂	1878年 明治11年	昭和15年 合併	阪南銀行	三井住友
大阪貯蓄銀行	外山脩造 鴻池山口家	1890年 明治23年	昭和20年 国策合併	日本貯蓄銀行(協和)	りそな
近江銀行	伊藤忠兵衛 他 近江商人	1894年 明治27年	昭和3年 営業譲渡	昭和銀行 その後 安田銀行	みずほ
北浜銀行(接陽銀行)	岩下清周	1897年 明治30年	大正15年 合併	三十四銀行	三菱東京 U FJ

提案①

広岡浅子をイメージした彫刻を、大阪企業家ミュージアム前に設置する(制作は流政之氏に依頼)
流政之氏は、大同生命設立功労者 中川小十郎の子息
彫刻名はあさちゃんとする(私案)

提案②

銀行跡地の公開空地表示板を有効活用する

公開空地表示板の横に、写真付説明のあるパネルを設置(現状跡地の説明なし)

提案③

銀行跡地巡りのマップ作成

詳細は別紙を参照